3.指標ごとの目標と実績

基準実績(H14)

1) 渋滞を減らす~道路交通の円滑化と地球温暖化対策~

y was a way to the state of the wild to th			
道路渋滞による損失時間		38.1 億人時間/年	
(旧モニタリング区間)		(6.1 億人時間/年)	
路上工事時間		201 時間/km・年	
	全 国	5%	
ETC利用率	首都高速	6%	
	阪神高速	3%	
踏切遮断による損失時間			
(開かずの踏切の対策実施数)		•	
C O 2 排出削減量		262 百万 t-CO ₂	

2)環境を改善する~沿道環境の保全~

NO2環境目標達成率	64%
SPM環境目標達成率	-
夜間騒音要請限度達成率	61%

3)交通事故を減らす~安全・安心な道づくり~

道路交通における死傷事故率	118.4 件/億台キロ	
1 日当たりの平均利用者数が 5,000 人以上の旅客施設の周辺等の	約 17%	
主な道路のバリアフリー化の割合	AU 17%	

4)地域を結ぶ~物流機能の向上と地域間の連携~

規格の高い道路を使う割合 (新たに規格の高い道路への転換を図る目標交通量)	13%
拠点的な空港・港湾への道路アクセス率	59% (39 箇所ヘアクセス)

5)災害等に備える~防災と維持管理~

I	災害時に広域的な救援ルートが確保されている都市の割合			66%
	橋梁の予防保全率		-	
		(道路構造物保全率)	(橋梁)	86%
ĺ	(追跖惧追彻休主华)	(舗装)	91%	

6)地域の魅力を向上する~観光立国の実現~

市街地の幹線道路の無電柱化率	約 7%
THE STATE OF THIS ACCESS TO MICE STATE OF THE STATE OF TH	

7) 道路行政の改革~アカウンタビリティの向上~

道路利用者満足度	2.6 点
ホームページアクセス数	1,546 万アクセス/年
道路事業の総合コスト縮減率	-

8) 平成 17 年度にフォローアップするその他の指標

隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合

日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ快適に走行できる人の割合

「防災上課題のある市街地」の割合

② 路線番号の認識できる交差点の割合

_		約 36.2 億人時間/年	 (約1割削減)
- (約57倍~時間/年~			(M) B) II II II II II II I
(約5.7億人時間/年)	(5.8億人時間/年)	(約 5.6 億人時間/年)	(44.2 東北北岸)
185 時間/km・年	143 時間/km・年	177 時間/km・年	(約2割削減)
(平成 14 年度比 8%削減)	(平成 14 年度比 29%削減)	(平成 14 年度比 12%削減)	
約 50% (平成 17 年春)	47% (平成 17 年春) 注1	70% (平成 18 年春)	-
約 60% (平成 17 年春)	53% (平成 17 年春) 注1	85% (平成 18 年春)	-
約 50% (平成 17 年春)	39% (平成 17 年春) 注1	85% (平成 18 年春)	-
_	136.6 万人・時間/日	-	-
	(22箇所)	(70箇所)	(200箇所)
平成 22 年度	までに運輸部門における二酸化	炭素排出量を約 250 百万 t-C	O₂まで削減 ^{注2}
77%	69%	81%	(約9割)
78%(平成15年度の水準を維持)	100%	 (平成16年度の水準を維持)	 (現在の水準を維持)
65%	67%	68%	約 72%
約 114 件/億台丰口	120件/億台キロ(暫定値)	約 112 件/億台丰口	約 108 件/億台丰口
約 30%	31%	約 35%	約 5 割
3%(290万走行台キロ/日転換)	13% (約370万走行台キロ/日転換)	14%	約 15%
61%(41箇所ヘアクセス)	61%(41箇所へアクセス)	66%	約 68%
700/	0.00/	700/	<i>\tau</i> 7.00/
70%	69%	72%	約 76%
-	88%	91%	概ね 100%
89%	86%	88%	93%
91%(平成14年度の水準を維持)	94%	91%(平成14年度の水準を維持)	91%(平成14年度の水準を維持)
	10%	11%	約 15%
約 10%			
約 10% 約 2.8 点 約 4,300 万アクセス/年	2.7 点	約 2.9 点	3.0 点 約1億アクセス/年

現在(H16)実績

来年(H17)目標

計画目標(H19)

注1) 最新データを記載(日別データ:平成17年6月16日)

H16 目標

注 2) 道路整備による具体的 CO_2 排出削減目標については、現在「地球温暖化防止に向けた道路政策会議」(平成 17 年 4 月設置)において検討中

4.業績予算に対応した政策テーマごとの達成度報告と業績計画

【政策テーマごとの達成度報告と業績計画の読み方】

政策テーマごとに、対応する成果指標を掲載する。

各成果指標は

・ 指標の動向 : 指標値算出にあたり必要な測定対象や項目を明らかにし、

その指標の目標やその傾向を記載

・ 達成度報告(昨年度の成果):施策を実施した箇所とそうでないところの比較、都道府

県・ブロック別や国道事務所別の達成度などの分析

・ 業績計画(今後の取組み) :達成度報告を踏まえて、それぞれの担当部局が改善策を検

討し、次の施策・事業に反映

中見出し	政策テーマ名称		政策テーマ名称 【指標 - 指標名称】
中見出し ・地域のな図等 ・地域のな図等 ・地域の動向 地域の通行県等)別図 満足度の日本地図のような (2)達成度報告(昨年度の成果) 図表等	大見出し		 (1)指標の動向
(2)達成度報告(昨年度の成果) (2)達成度報告(昨年度の成果) (3)業績計画(今後の取組み) (3)業績計画(今後の取組み) (3)業績計画(今後の取組み) (3)業績計画(今後の取組み) (4) 単語 (15年度実績	中見出し	象徴的な図等	
図表等	(1)指標の動向 		時 京 が り 交 化 凶 満足度の日本 地図のような 温 に 満足度の日本 地図のような
(3)業績計画(今後の取組み) 平成 15 年度実績	(2)達成度報告(昨年度の成果) 		
平成 15 年度実績 実績 実績 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	(3)業績計画(今後の取組み)		(3) 業績計画(今後の取組み)
担当: 道路局 課	平成 15 年度実績	(日本の日本) (日本日本) (日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	[関連する平成17年度の主な施策]